




病名:

腹水濾過濃縮再静注法 入院診療計画書

腫瘍内科

様 ID:

GG0A8Y91

経過	外来から入院まで	入院日・治療日	治療2日目・退院指導
月日	/	/	/
アウトカム	治療について理解することができる。	治療内容が理解でき安全に治療が受けられる。	症状が改善し退院することができる。
治療・検査	・治療を行うためいくつかの検査を行います。(採血、レントゲン・CT検査・エコーなど)	・腹部より針を刺し、腹水を抜きます。 ・腹水を抜いた後、発熱を抑える点滴を開始します。 ・腹水を濾過濃縮したものを点滴で体へ戻します。	・お薬が出された場合、薬剤師からのお薬の説明があります。 ※土・日曜日の急な退院の際は対応しかねます。
薬	・お薬手帳を持参し、看護師にお渡しください。	・自分で薬を管理することが難しい方は申し出て下さい。 ・医療用麻薬を内服している場合もお申し出ください。	<p>・以下の症状がある時は病院に連絡または受診して下さい。</p> <p>◎発熱: 38度以上2日以上続いている。</p> <p>◎出血: 腹水を抜いた所が痛い・出血している・液が漏れている。</p> <p>◎吐き気・嘔吐: 1日6回以上吐いている。</p> <p>◎食欲: 食欲がなく、水も飲めない。</p> <p>◎皮膚の異常: 点滴したところが痛い、または赤く腫れている。</p> <p>◎体重: 急激な体重増加・むくみがでた。</p>
食事や生活		・食事に制限はありません。 食欲や症状に合わせて食事変更できますのでお声掛け下さい。 ・腹水を抜いている間、2～3時間安静にして頂きます。 ・腹水を体に戻している間もベッド上で安静にして頂きます。 ・トイレの時は、看護師へお知らせ下さい。	
説明・指導	<p>・入院前に病状・検査治療の説明を行います。</p> <p>・入院後、病棟案内、入院後の生活について説明いたします。</p> <p>・入院証書・病衣依頼書をお持ち下さい。</p> 	<p>・入院時の書類の確認をいたします。</p> <p>・発熱・寒気・頭痛・嘔吐・ほてり・呼吸が苦しい・針を刺した部位の出血・疼痛等の症状がある時は、看護師へお知らせ下さい。</p> <p>・治療費が高額になる場合がありますので、ソーシャルワーカーにご相談いただけますので、お声がけください。</p> <p>・その他の症状、特に体の痛み、食欲がないなど困ったことがあれば、入院時看護師にお話下さい。</p> <p>・‘わたしのカルテ’という手帳をお渡ししますので、ご自分の体調管理にお役立てください。(外来受診時、ご持参下さい)</p> <p>・特別な栄養管理の必要性(有・無)</p> 	

◎入院時、本紙を忘れずにお持ちください。入院後もこの用紙にて説明いたします

注1: 病名などは、現時点で考えられるものであり今後検査などを進めていくにしたがって変わり得るものです。

注2: 入院期間については現時点で予想されるものです。

2016年12月 改訂

患者様署名: _____

担当医師: _____

担当看護師: _____